

議題（1） 令和5年度（令和6年1月まで）の状況について

1 入館者数（開館日数）

月	開館日数	入館者数	備考
4月	26日間	4,755人	企画展「北斎漫画」開始（4/22～）
5月	26日間	6,795人	
6月	26日間	2,788人	企画展「北斎漫画」終了（～6/4）
7月	26日間	2,754人	企画展「井ヶ谷古窯展」開始（7/22～）
8月	27日間	2,875人	
9月	26日間	1,898人	企画展「井ヶ谷古窯展」終了（～9/10）
10月	26日間	3,523人	企画展「姫たちの想い」開始（10/14～）
11月	26日間	4,695人	企画展「姫たちの想い」終了（～11/26）
12月	24日間	2,820人	
1月	24日間	2,192人	
2月	—	—	
3月	—	—	
合計	257日間	35,095人	

4月25日（開館1,171日目） 15万人達成

2 企画展開催事業

刈谷やその周辺の地域の歴史に関して学ぶ機会や、遠方の歴史資料を借用公開することでさまざまな歴史資料に触れる機会を市民に提供。

(1) 北斎漫画－驚異の眼・驚異の筆－

ア 会 期 4月22日(土)～6月4日(日) (開催日数38日)

イ 観 覧 料 一般600円(各種割引あり[100円引])、
企画展パスポート1,200円、中学生以下・障害者無料(付添1名無料)

ウ 観覧者数 6,917人
[一般・割引]4,336人、[パスポート]のべ279人(販売82枚)

エ 展示品数 218件

オ 印刷物 ポスター、チラシ、図録(有料頒布、1冊2,000円)

カ イベント 講演会

・4月22日(土)「世界を驚かせた北斎と『北斎漫画』」

講師：浦上 満氏(本展監修者)(聴講81人)

講座

・5月21日(日)「北斎の画業と『北斎漫画』」

講師：永井 優香子(当館学芸員)(聴講38人)

展示説明会

・5月7日(日)

講師：永井 優香子(当館学芸員)(聴講34人)

この他に体験イベント「『北斎漫画』でおさかなつりゲームづくり」「『北斎漫画』スタンプでオリジナルポストカードづくり」「『北斎漫画』缶マグネットづくり」や教員向けギャラリートークを実施した。

また、同時期に浮世絵の展覧会を実施していた高浜市やきものの里かわら美術館と相互割引・連携クイズラリーを実施した。

(2) 井ヶ谷古窯展－いにしへの刈谷のものづくり－

ア 会 期 7月22日(土)～令和5年9月10日(日) (開催日数44日間)

イ 観 覧 料 無料

ウ 観覧者数 3,566人

エ 展示品数 約200件

オ 印刷物 ポスター、チラシ、解説パンフレット(無料)

カ イベント 講演会

・7月22日(土)講演会「ものづくり王国・愛知の幕開けと井ヶ谷古窯跡群」

講師：大西 遼氏(愛知県陶磁美術館学芸員)(聴講29人)

体験

- ・ 8月5日（土）「出張！歴史博物館 カラフルな勾玉づくり」
場所：ハイウェイオアシス オアシス館2階 参加人数：97名
愛知教育大学連携イベント
- ・ 8月12日（土）「発見！！歴史探検隊—博物館からの挑戦状—」
講師：愛知教育大学 学生 参加人数：午前19名、午後17名
夏休み特別イベント
- ・ 日時：8月20日（日）「石器づくり体験」
講師：平井義敏氏（みよし市立歴史民俗資料館学芸員）、
野村啓輔（当館学芸員） 参加人数：午前5名、午後6名
このほか松根第3号を訪問するギャラリートークとバスツアー、ナイトミュージアムとギャラリートーク、教員向けギャラリートークを行った。

(3) 姫たちの想い～家康を支えた水野家の女性たち～

- ア 会 期 10月14日（土）～令和5年11月26日（日） （開催日数38日間）
イ 観 覧 料 一般（高校生以上）800円（各種割引あり[200円引]）、
中学生以下・障害者無料（付添1名無料）
ウ 観覧者数 3,502人 [一般・割引]2,174人
エ 展示品数 46件（愛知県指定1件、福岡県指定1件、
新城市指定1件、阿久比町指定2件、刈谷市指定3件10点）
オ 印刷物 ポスター、チラシ、図録（有料頒布、1冊1,500円）
カ イベント 講演会

- ・ 10月28日（土）「家康の父・松平広忠とその後」
講師：柴 裕之氏（東洋大学非常勤講師【どうする家康 時代考証担当】）
(聴講79人)

- ・ 11月11日（土）「家康を支えた女性たち」
講師：福田 千鶴氏（九州大学基幹教育院 教授）（聴講98人）

展示説明会 10月15日（土）

- 講師：山下 智也（当館学芸員）（聴講20人）

その他イベント

- ・ 「出世大家康くん・おだいちゃん・かつなりくん大集合！」
11月3日（金・祝）
刈谷城盛り上げ隊演舞、おはなし会（講師：河村 智美（当館指導主事））を
併催、浜松市・東浦町・刈谷市PR ブース設置、キッチンカー出店
- ・ 「特別ひめ茶会」
11月4日（土）参加人数：152名、5日（日）参加人数：155名
お茶券・企画展セット券1,000円

この他に、手まりづくり体験、ひめクイズラリー、ギャラリートーク、教員向けギャラリートークなどを実施した。

3 常設展開催事業

歴史ひろばのテーマ（刈谷の縄文時代、刈谷藩と城下町、刈谷発の近代化）ごとに年4回展示替えを行い、刈谷の歴史に関する実物の資料を常時公開。展示替えごとにギャラリートークを行った。

4 参加・体験型歴史文化教育普及事業

郷土の歴史文化に対する誇りと愛着を育むため、市民が歴史文化について学ぶ機会を創出。

(1) 歴史文化体験講座の開催

令和5年5月から毎月1回開催

例) 香袋を作ろう（お香入門）、クラフトバンドリースしめ縄づくり など

(2) 簡単工作の開催（土日祝）

はにわストラップ、オリジナルうちわ、折り紙「お城」「おひめさま」など

令和4年度よりポイントカード開始

参加者数 のべ2,029人（R5.12月末時点）

※参考 のべ1,952人（R4.12月末時点）

(3) 出前講座

市民グループや団体等から教育委員会生涯学習課を通して依頼を受け、学芸員が刈谷の歴史のテーマに沿って、依頼元で講座を行った。

刈谷高校1年生「地理探究」の学習で「刈谷の縄文時代」、「鉄道敷設の頃の刈谷」について講義を行った。

(4) 歴博ゼミナール

8月11日（金・祝）「アジア太平洋戦争期の刈谷―石川文中の日記を手がかりに―」

講師：広中 一成氏（愛知学院大学文学部歴史学科准教授）

長谷川 怜氏（皇學館大学文学部国史学科准教授）（人数46人）

(5) 天誅組160年記念事業の開催

- ・記念講演会 9月16日（土）「学問的交流から見る松本奎堂の思想」

講師：前田 勉氏（愛知教育大学名誉教授）（聴講42名）

- ・連続講座 インTRODクション講座

12月2日（土）「天誅組と刈谷からの参加者」

講師：山田 孝氏（刈谷市文化財保護審議会 会長）（聴講78名）

- ・連続講座 第1回

12月2日（土）「文久三年中央政局と薩摩藩―八月十八日政変を中心に」

講師：町田 明広氏（神田外語大学教授）（聴講71名）

- ・連続講座 第2回
 - 1 2月10日(日)「長州藩家臣にとっての『八月十八日の政変』」
 - 講師：重田 麻紀 氏
 - (慶應義塾大学文学部古文書室研究員・萩市須佐歴史民俗資料館特別学芸員) (聴講63名)

- ・連続講座 第3回
 - 1 2月16日(土)「攘夷運動を見聞した人々―八月十八日の政変前後の京都民衆と情報―」
 - 講師：吉岡 拓 氏 (明治学院大学准教授) (聴講51名)

(6) 開館5周年記念イベント

- ・3月24日(日)に5周年を記念したイベントを開催予定。特別結成したジャズバンドによる演奏の他、けん玉&コマパフォーマンス兄弟「とに〜ず」、山車囃子等が出演。これまでに開催した企画展を掲示で紹介。

(7) 他イベント開催

- ・甲冑試着体験 5月3日(水・祝)
- ・なりきり体験でフォトマグネット 2月12日(月・祝)

5 小中学生の館内見学・体験学習の支援

小中学生を対象に見学の機会を提供し、郷土の歴史文化に関する学習の支援。

- ・中学校1年生の「歴史ひろば」及びバックヤード見学(5月～7月)
- 他、子ども向けの歴史相談や体験講座を行った。
- ・アウトリーチプログラム
- 博物館の実物資料を教室へ持ち込み、指導主事が授業を行う。
- 「縄文時代の刈谷」「戦争中の刈谷の様子」(市内小学校6年生4校で実施)

6 啓発・広報

- (1) 歴史博物館ホームページ
 - 展示やイベント、利用案内、交通アクセス等の情報を掲載。
- (2) 市民だより
 - 企画展や関連するイベント、歴史体験講座の案内等を随時掲載。
 - 歴史散歩(収蔵品等を紹介、毎月1日号)。
- (3) 博物館ニュース
 - 企画展の案内や企画展に関する小論等を掲載。
 - 年3回発行。9月末、12月末、3月末に発行。
- (4) 年報
 - 博物館の概要・組織、その年度の予算・実施事業・活動結果報告などを掲載。
 - 10月1日に第4号を発行。(郷土資料館分と合冊)
 - またホームページにも掲載。

(5) 研究紀要（有料）

刈谷の歴史に関わる調査研究や、博物館の活動成果を掲載。

今年度末に第4号を発行予定。

(6) 物品販売

当館開催の展覧会図録や刈谷市史、発掘成果報告書、市史関連DVD刈谷偉人伝を販売し、調査・研究成果を広く普及・啓発。歴史博物館オリジナル物品を製作販売した。

7 市史資料整理活用事業

(1) 市内外に存在する資料の調査・収集・整理・保存

(2) 収集資料の閲覧用紙焼本の製作

(3) 資料閲覧室における閲覧対応

8 発掘調査出土遺物整理活用事業

(1) 宅地建設等に伴う試掘・確認調査及び緊急発掘調査（寺屋敷東貝塚・寺屋敷西貝塚確認調査）

(2) 出土遺物の注記・接合作業

(3) 発掘調査成果をまとめた報告書の刊行（宮東第1号貝塚埋蔵文化財調査報告書、刈谷城跡確認調査報告書）

9 資料の寄贈・寄託

(1) 個人宅や寺社等からの依頼による調査

(2) 資料の寄贈・寄託手続き

10 資料の購入

資料収集方針に基づき、刈谷の歴史に関わる重要な資料を古書店等から購入。

徳川二十将図 1点

東海道細見大絵図 1点

其姿紫の写絵 1点

秋夜双鶯図 1点

11 博物館資料の保存管理

(1) 館内の適切な温湿度環境の維持及び虫害の防除（通年実施）

I PMの手法を用い、館内のモニタリングと虫害防除策を実施。

(2) 収蔵品の修復、及び什器の制作

12 学芸員による調査・研究

・『刈谷市歴史博物館紀要』第4号の刊行（予定）

[論文]

「織豊期刈谷水野家・緒川水野家の政治動向について―水野信元・忠重期の緒川領支配を中心に一」五十嵐正也（大津市歴史博物館学芸員）

[研究ノート]

「愛知電気鉄道の延伸と地域社会」井筒康人

「西石根第7号窯出土の推定「黄土」調剤容器について」尾野善裕（京都国立博物館学芸部長）・降幡順子（京都国立博物館保存科学室長）

[資料紹介]

「松平忠房「私覚書」翻刻（一）」山下智也

「孫六第1号窯（IG-8）の須恵器―刈谷市所蔵の谷沢資料から―」河野あすか

[座談会]

「刈谷高校野球部創設に関する秘話」

1.3 博物館実習の開催

学芸員資格取得を志望する学生を受け入れ、博物館の学芸業務を実習した。

期間：8月16日（水）～22日（火）（19日（土）、21日（月）を除く）5日間

受講者：7名

1.4 郷土資料館との連携

郷土資料館における展示、歴史博物館常設展示において学芸員及び指導主事により連携を図った。

1.5 その他

(1) 団体見学・視察受入

(2) 刈谷城盛上げ隊の出演

月1回、エントランス等でミニゲームを行い、来館者との触れ合いの場をもうけた。